

体調の悪い生徒は登校させないで下さい。

下記のリストは学校からの指示であり、医学的なアドバイスではありません。
健康上の懸念がある場合は、医療機関に連絡して下さい。



症状



登校再開の目安

(以下は、自宅滞在の最短時間を示しています。病状によっては、より長く自宅に留まる必要があります。)

発熱: 100.4°F(38°C)
以上の熱



解熱剤を使用せずに発熱のない状態が24時間以上継続すること。

咳または呼吸困難



症状が改善(咳が止まる、または良くコントロールされており楽に呼吸ができる)。緊急の医療処置が必要な場合がある。

首の凝りや発熱を伴う頭痛



症状がないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。発熱が見られる場合は、上記の発熱の場合に従う。緊急の医療処置が必要な場合がある。

下痢: 1日3回以上の軟便・
下痢。または、便通のコントロールが困難な場合



24時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

嘔吐: 原因不明の嘔吐が
2回またはそれ以上ある
場合



24時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

発疹または腫れた傷



症状がなくなる(発疹が消える)こと。または、傷が乾くか、包帯で完全に覆われていること。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄色や茶色の目やにを
伴う目の充血



症状が見られない(目の赤みが取れ、目やにもない)こと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄疸: 目や皮膚が黄色くなる



医師または地域の保健局からスクールナースへ指示があること。

理由もなく普段と違う行動を
する。例えば、異常に眠い、
機嫌が悪い、混乱している等



症状が見られない(普段の行動に戻る)、または医師からスクールナースへ指示があること。

2週間以上の病気や入院などの
大きな健康上の出来事。あるいは、
生徒の健康状態が、学校ス
タッフが安全に提供できる以上
のケアを必要とする場合



医師からスクールナースへ指示があり、さらに生徒の安全確保の措置が取られること。生徒が安全に学校へ通えるように、学校スタッフと協力して特別なケアの必要性に対処すること。